



わかたけ

学校通信

練馬区立大泉西小学校
学校通信 11月号
令和4年 10月 31日発行
編集責任者 校長 岩切 洋一

<http://www.ooizumi-w-enerima-tyky.ed.jp/> 学校HP 毎週更新中!

季節の風情を味わわせる

校長 岩切 洋一

10月11日の朝、登校してきた児童数名と校庭にいた時、一人がこんな話をしてくれました。「校長先生、土曜日にお月様を見ましたか。十三夜という凄くきれいなお月様でしたよ。十三夜は『栗名月』と言うんですって。だから、家族みんなで栗ご飯を食べながら見ました。お母さんは『秋の味だねえ』と、うっとり。本当においしかったです。1年生の頃、生活科でどんぐりなどを使った遊びをしたけど、秋はたくさんのお木の実がなる、おいしくてきれいな季節ですよ。」

その時の一家団欒の情景を思い浮かべ、私はほのぼのとした気持ちになると共に、校長として大変ありがたいなあと思いました。このような体験は理科や生活科で学んだことの習得に有効だからです。

私たちは四季があることを当然のように捉えています。しかし、この夏、外国に生活基盤を移している友人が一時期国をした折、旬の食材を口にしながら話していたことが心に残っています。

「日本に帰ってくると、四季の存在とその良さを感じるよ。向こうでははっきりした季節の変化は殆ど感じないけど、日本は季節ごとに風情が違うし、おいしいものも違う。昔は二十四節気や七十二候というものまで設けて、人々は季節ごとの味わいを楽しんだのだね。本当にいいものだね。」

理科や生活科ではそんな季節ごとの自然の特徴や移ろいの様子、季節に合わせた遊びや生活の様子を指導しています。練馬区内の他地域と比べると西大泉周辺は自然の様子などを観察しやすい環境にあります。各担任はそれらの中から様々なものを適宜取り上げて学習を進めていますが、そこはやはり市街地のこと、農山村部などの自然豊かな地域と比較すると、どうしても限界があるのも事実です。

今回、十三夜の様子を語ってくれたお子様のように、ご家庭が季節を味わえる機会をつくっていただくことは、学校で学んできた知識をより深く定着させるうえで何よりの手助けになるのです。更に、この国土で暮らしていくうえで大切な、自然に対する感受性の高揚にも寄与することになるはずです。

本紙がお手許に届くのは先程の七十二候では「霎時施（こさめときどきふる）」という季節になり、通り雨のように雨が降ったかと思えばやみ、雲間から青空が顔を出すという気候とされます。

そして、その後には「楓蔦黄（もみじつたきばむ）」という紅葉、黄葉の季節がやってきます。いよいよ秋の自然の美しさを何より実感できる時期となるのです。

日常生活の中で目にする季節の彩りや、季節の味覚、季節の香りといったものをお子様たちに味わわせていただければ幸いに存じます。お力添えの程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ふれあい月間について

6月に続き11月はふれあい月間です。今回は、「練馬区いじめ防止標語」に全校で取り組みます。標語を考えることを通して、改めて「いじめは絶対にいけない」ということを大西小全員で共有していきます。

今回も児童全員に「生活アンケート」を実施して、困っていること、悩んでいることを把握して早期解決、未然防止を図っていきます。中にはそんな気持ちを外に出せない子もいます。学校でも、教員が小さな変化も見逃さないよう努めてまいります。気付かないこともあります。お子さんの様子で気になることがございましたら、遠慮なく担任までお知らせください。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員にもご相談いただけます。学校ホームページの「学校通信・お知らせ」内「教育相談」もご参照ください。

11月の行事予定

日	曜日	内 容
1	火	安全指導 歯科検診 (午後)
2	水	
3	木	文化の日
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会
8	火	5年連合音楽会
9	水	1年研究授業 (1年以外4時間授業)
10	木	委員会活動
11	金	クリーン運動 読書月間終
12	土	土曜授業
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	避難訓練
17	木	クラブ活動
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	
25	金	校内音楽会 (児童鑑賞日)
26	土	校内音楽会 (保護者鑑賞日)
27	日	
28	月	振替休業日
29	火	個人面談① 4時間授業 時間走始
30	水	4時間授業 (研究会のため)

11月の生活目標

「自分の仕事は

最後までやりましょう」

学校生活の中で、普段子供たちに感心させられるのが、忘れずに自分から取り組む姿や、当番など内容が決まっている仕事でも、工夫してよりよく行おうとする姿が見られることです。勿論、忘れてしまう子もいます。「責任感」の醸成には、学校や家庭で仕事に取り組んでみるだけでなく、誰かがした仕事に対して、感謝の気持ちをもち、伝えることも忘れずにしていきたいものです。

子供たちには、日々の生活の中で、自分のすることが誰かの役に立つことを実感したり、仕事そのものに面白みを感じたりしていくことで、責任をもって自分の仕事に取り組めるようになって欲しいと思います。

生活指導主任・松本 美佐

音楽会について

「初めての音楽会」

今年度、大西小開校以来初の音楽会が催されます。ここ何年かの感染症の流行で、音楽の授業は大幅に制限され、思いっきり歌ったり、演奏したりという経験が不足しております。それでも、何とかできる範囲で工夫して表現しようと、児童は音楽会に向けて取り組んでいます。

音楽は「協力してハーモニーを創り上げる」という音楽ならではの手段で、言葉では表現できないコミュニケーションを図ることができます。児童からは「一人で演奏しても楽しいけど、友達と一緒に演奏するともっと楽しいね」という声も聞こえてきます。

まだまだ「マスクがはずせない」「5年生の区の行事の連合音楽会では吹く楽器は禁止」という制限があり、通常の音楽会のようにはいきませんが、是非お子さんの生の演奏をご鑑賞いただき、一緒に楽しんでいただければ幸いです。

音楽専科「本橋 ひとみ」